

令和7年度 第2回広島市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和7年9月5日（金） 15:00～15:25

2 場 所 広島市役所2階 講堂

3 出席者

(1) 委員

広島工業大学 伊藤会長、広島県バス協会 横田委員、
広島県タクシー協会 稲益委員、私鉄中国地方労働組合 後藤委員、
広島市老人クラブ連合会 堂本委員、広島消費者協会 栗原委員、
中国運輸局広島運輸支局 今坂委員代理、広島市道路交通局道路管理課 寺次委員代理、
安佐北警察署 竹本委員代理、広島市道路交通局公共交通政策部 橋本委員

(2) 事務局

広島市道路交通局公共交通政策部路線バス・生活交通担当
三浦課長、淀川専門員、中尾技師、寺尾主事

(3) 説明者

事務局、広島交通(株) 井上次長

4 議 題

【議案】

山倉地区乗合タクシーの実験運行に係る事業計画について

5 議事概要

議案について、原案どおり了承された。

以下、質疑応答

(栗原委員)

第1回広島市地域公共交通会議の議案に実証運行と記載されていたが、今回の議案は実験運行と記載している。実証運行と実験運行の違いはあるのか。

運行ルートについて往路と復路が異なるが、ルート設定の考え方について伺いたい。

(事務局)

実証運行と実験運行は、同義と認識している。

運行ルートは、山倉地区町内会乗合タクシー推進協議会との協議を踏まえ、往路は、山倉地区を出発し、生活拠点であるフジ三入店を經由後、可部方面への路線バスと接続する町屋記念碑前バス停を經由して、再び出発点であるフジ三入店に戻るルート、復路は町屋記念碑前バス停を經由せず、山倉地区方面に向かう運行ルートとしている。

(伊藤会長)

可部方面からバスで来て町屋記念碑前で降りた人が乗合タクシーに乗る場合、フジ三入店まで歩くことになるのか。

(事務局)

その通りである。地域とも協議した結果、そのようなルート設定としたものである。

(横田委員)

実験運行期間中、乗客の運賃は無償とするのか。

(事務局)

運賃はいただくようにしている。運賃の設定については、この後の運賃分科会で審議する予定であるが、資料の 10 ページのとおり大人 300 円に設定することを考えている。

(横田委員)

使用車両は予備車両含めて 4 台とのことだが、1 日 8 往復の運行に対して 4 台は多いと感じる。具体的な運行体制はどうなっているのか。

(広島交通(株) 井上次長)

山倉地区で実際に運行に使用するのは、現在発注中の 1 台であるが、広島交通では、同様の車両を現在 3 台所有しており、そのうち 2 台は広島交通が運行するバス路線である今吉田線に使用している。

山倉地区の乗合タクシーの運行にあたり予備車両を確保する必要があるため、今吉田線の車両も含め、4 台で運用すること考えている。

(伊藤会長)

資料の 9 ページに道路幅員の狭い資料がある。フリー乗降区間を設定しているが、幅員が狭くても問題がないのか。

(事務局)

安佐北警察署と協議のうえ、運行速度に十分注意すること、平坦な場所で乗降を行うことなど、安全面に配慮した運行を行う予定である。

(横田委員)

フジ三入店を始発、終点としているが乗客の待合環境はどのようにしているのか。

(事務局)

フジ三入店と協議を行い、店内のイートインスペースを待合場所として利用できるよう調整している。

(伊藤会長)

特に反対意見はなかったので、原案どおり承認とする。